記述問題

以下の二つのテーマのうち，どちらか一つを選んで 400 字から 500 字で書いてください（句読点を含む）。

① 多くの人は，成功を良いもの，失敗を悪いものと考えて，失敗することを恐れます。しかし，失敗は本当に悪いものなのでしょうか。
「失敗は悪いものだ」という考えに対する*反論を，例を挙げながら具体的に述べなさい。

② 現代社会では効率性が重視され，様々なことが，少ない労力で短時間に行われています。しかし，何よりもまず，効率性を追い求めるのは，本当に良いことなのでしょうか。
「効率性を追い求めるのは，何よりも良いことだ」という考えに対する*反論を，例を挙げながら具体的に述べなさい。

*反論：相手の考えに対して，「それは必ずしも正しいとは限らない」と主張する意見

「記述」問題解答例 ①

　人は失敗を恐れ、成功を求める。確かに失敗は周りに迷惑をかけたりするため、悪いもの、恥ずかしいものと考えられやすい。一方、成功は輝かしいものと歓迎される。

　しかし，成功だけがよいものだろうか。成功への過程には必ず失敗があるのではないか。失敗のおかげで、別の道が見えたり、新たな考えが浮かんだりすることがある。長い目で見れば、失敗にこそ価値があると思う。

　現代の若者は失敗を恐れ、自分からは行動を起こさないと言われている。たとえば、誰かのアドバイスや保証がなければ動かない等である。このような行動は失敗も生まないが、革新的な何かを生み出すこともない。

　「失敗は成功のもと」ということわざが示す通り、成功したければ、失敗を恐れてはいけない。さらに、社会全体として革新的な何かを生み出したいのなら、失敗を寛容に受け止める環境を整える必要もある。失敗が激しい批判の対象になるのであれば、新しいことに挑戦したくても、人はやはり失敗を恐れてしまうからだ。

　失敗は悪いものではなく、革新的な何かを生み出すなど、成功につながる貴重な機会だという視点を忘れてはならない。

500

「記述」問題解答例 ②

これまで、私たちは、より効率的に物事を行うために技術を磨いてきた。たとえば、冷凍食品やレトルト食品、カップ麺といった加工食品は、手間をかけずに料理が用意できるので、料理が苦手な人や忙しい人にとって、とてもありがたいものだ。これらは、便利で効率的な生活を求める消費者の欲求に合うものを、メーカーが開発した成果だ。

しかし、はたして効率性を追及することはよいことばかりなのだろうか。作り手の個性が現れた味わいや、昔から受け継がれてきた技術、文化が失われてしまうのではないか。

早く大量に、少ない手間で物事を成し遂げようとするあまりに、私たちの周りには、味わいや手触り、そして見た目も画一的なものがあふれてはいないだろうか。また、じっくり物事を考えたり、語り合ったりする手間を惜しみ、結論だけを早く手にしようとするあまり、アイディアや意見が浅く薄っぺらなものになっているように思われる。

効率性を追及し過ぎることは、じっくりと物事に向き合い、成し遂げるための、身体的、精神的持久力を奪うことにつながりかねないと思う。そのことを、私たちは認識する必要があるだろう。

500

2014.10.06 初版

okd

小春論壇　http://www.xiaochuncnjp.com/